

# 令和2年度 ABC分析

## 1. 汚水処理原価の算出方法

$$\begin{aligned}
 \text{汚水処理原価} &= \frac{\text{汚水処理原価} - \text{長期前受金戻入}}{\text{年間総有収水量}} \\
 &= \frac{1,825,353,118 - 646,830,683}{9,673,480} \\
 &= 121.83\text{円}/\text{m}^3
 \end{aligned}$$

※汚水処理原価とは、下水で処理した汚水のうち、下水道使用料収入の対象となった水量1 m<sup>3</sup>当たりどれだけの費用がかかっているかを表すものです。（消費税及び地方消費税は含まず。）

## 2. 従来の原価計算

### ①会計の費目別による原価計算

(単位：円、%)

会計費目	金額	1m <sup>3</sup> 当たり	構成比
管渠費	12,744,078	1.32	1.08
ポンプ場費	69,513,883	7.19	5.90
処理場費	290,272,023	30.01	24.63
総係費	3,237,266	0.33	0.27
減価償却費	635,463,000	65.69	53.93
資産減耗費	0	0.00	0.00
営業外費用	167,229,935	17.29	14.19
計	1,178,460,185	121.83	100.00

### ②性質別費用による原価計算

(単位：円、%)

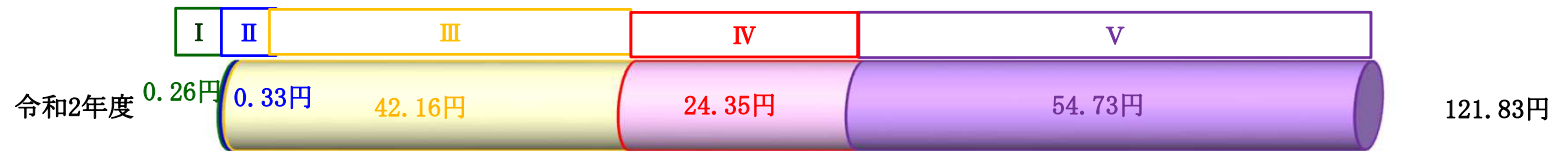
性質別費用	金額	1m <sup>3</sup> 当たり	構成比
職員給与費	108,885,999	11.26	9.24
減価償却費	635,463,000	65.69	53.92
資産減耗費	0	0.00	0.00
委託料	269,474,997	27.87	22.87
動力費	78,206,029	8.08	6.64
薬品費	8,518,335	0.88	0.72
その他	77,911,825	8.05	6.61
合計	1,178,460,185	121.83	100.00

※表中「減価償却費」については、長期前受金戻入分 646,830,683円 を除く。

3. ABC分析による原価計算

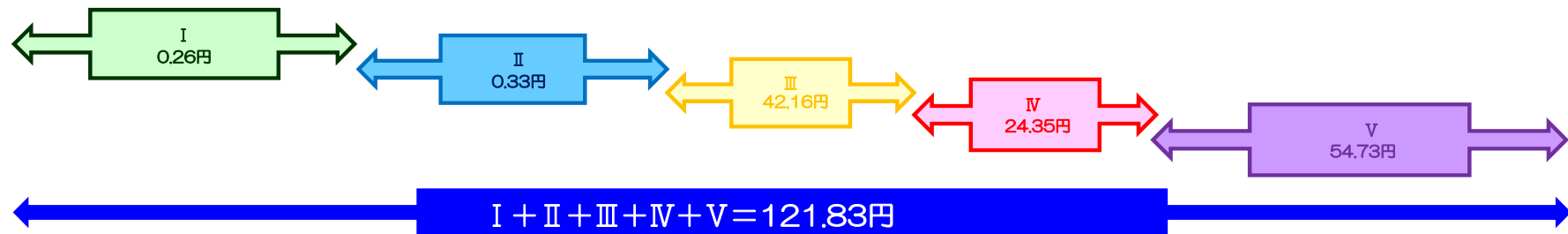
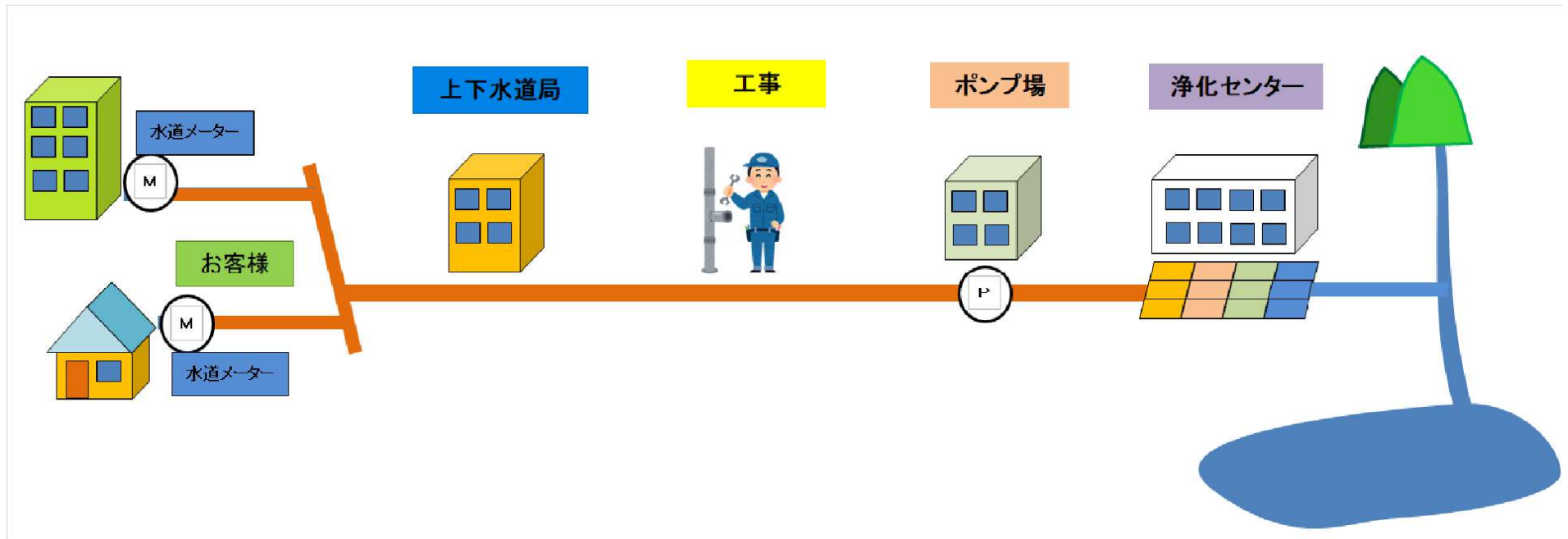
(単位：円、%)

活動コストの分類	金額			合計	1m <sup>3</sup> 当たり	構成比
	費目別	減価償却費等	営業外費用			
I 水道メータの検針、料金算定・徴収、窓口サービスなどのための活動	1,438,785	453,352	643,705	2,535,842	0.26	0.22
II 汚水を管理するための活動	1,798,481	566,691	801,518	3,166,690	0.33	0.27
III 管きよに係る設備の維持作業に係る活動	12,744,078	389,386,232	5,693,741	407,824,051	42.16	34.61
IV ポンプ場に係る設備の維持作業に係る活動	69,513,883	135,102,175	30,958,270	235,574,328	24.35	19.99
V 処理場に係る維持作業に係る活動	290,272,023	109,954,551	129,132,701	529,359,275	54.73	44.91
合計	375,767,250	635,463,000	167,229,935	1,178,460,185	121.83	100.00



- I 水道メータの検針、料金算定・徴収、窓口サービスなどのための活動
  - III 管きよに係る設備の維持作業に係る活動
  - V 処理場に係る維持作業に係る活動
- II 汚水を管理するための活動
  - IV ポンプ場に係る設備の維持作業に係る活動

4. ABC分析による原価計算 (イラスト)



- I 水道メーターの検針、料金算定・徴収、窓口サービスのための活動
- II 汚水を管理するための活動
- III 管きよに係る設備の維持作業に係る活動
- IV ポンプ場に係る設備の維持作業に係る活動
- V 処理場に係る維持作業に係る活動